

議会運営委員会報告書

令和3年1月7日

備前市議会議長 守井秀龍 様

委員長 土器 豊

令和3年1月7日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

記

案 件	調査結果	備 考
1 議長の諮問に関する事項についての調査研究 ① 議会報告会の在り方について ② 議員研修会について ③ 今後の課題について (1) 定例会期中の学校関係行事について (2) 議会だよりモニター制度について (3) 議会BCP（業務継続計画）について	継続調査	—

議会運営委員会記録

招集日時	令和3年1月7日（木）		議会だより編集委員会閉会后	
開議・閉議	午前10時30分	開会　～	午後0時02分	閉会
場所・形態	委員会室	閉会中の開催		
出席委員	委員長	土器　豊	副委員長	森本洋子
	委員	中西裕康		尾川直行
		石原和人		青山孝樹
欠席委員		なし		
遅参委員		なし		
早退委員		なし		
列席者等	議長	守井秀龍	副議長	掛谷　繁
傍聴者	議員	なし		
	報道	なし		
	一般	なし		
説明員	議会事務局長	入江章行	議会事務局次長	石村享平
	庶務調査係長	坂本　寛	議事係主任	楠戸祐介
審査記録	次のとおり			

午前10時30分 開会

○土器委員長 皆さん、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

ただいまの定数は6名であります。定足数に達していますので、ただいまから議会運営委員会を開催します。

1、議長の諮問に関する事項について調査研究、1番、議会報告会の在り方について。

それぞれ手元にあります、これを一応皆さん読んでいただいて、それから意見交換をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○森本副委員長 意見というのは、こちらに書かせていただいたとおりです。当初は条例に従ってと思っていたんですけど、この年末年始の状況を見て、岡山県でも50人を超えている状況なので、緊急事態宣言も全国的ではございません。関東圏のほうなんですけれども、そういう状況を考えてときに、2月の開催は厳しいというふうには思っておるので、ここでは見合わせたほうがいいのかは思っております。開催方法に関しては、前回申し述べたとおりで変わりはないんですけれども、2月を行わないとなれば議運でじっくりと開催方法を検討していけばどうかとは思っております。

○中西委員 議会基本条例を定めたその次の議会報告会を開催しないということにはならないんじゃないかということでは議会報告会は休みなく行ってはどうかと。ここで新志会さんがそういう御意見を述べておられますけれども、やり方については工夫をしながら開催してはどうかと。例えば先着順、申込み順、20名までとかという形でもいいんじゃないかなと思っておりますけど、取りあえず開催、中止についてはそう思います。

それから、ここに書いておきましたけども、グループワークを行ってはどうかと。そうすれば参加者全員に発言してもらい機会もあると。そうなれば、議員の個人的な見解を述べるどころもあり得るということも含めて断りながら議会全体の統一的な見解と個人の意見も述べるができるということにしてはどうかというふうに思います。

○石原委員 新志会も基本的には昨年末、右ページののところと変わりはさほどないんですけれども、緊急事態宣言等が全国的に去年の春のような形で発出されたような場合には開催を見合わせることも考えるべきだとは思っておりますけども、現状でいくと配慮しながら開催は可能ではないかというところです。

それから、しばらく全議員が出席してということ、それから当該議員以外も入室をして控えておっての開催でしたけれども、例えばですが、開催するんであれば2月と次の5月ですか、予定では。その2回あたりは例えば半数の議員が出席をすると。準備等々もあるんですけども、半分半分に分けて少しでもそういう密を避ける工夫もしていけば開催は可能であって、こういう状況であれば1月7日今日時点でも開催すべきではないかという考えでおります。

○青山委員 前回も言いましたように、来た人が全員何か意見が述べられるような開催ということでグループでの意見交換なりワークショップと書かせていただきました。

それから、コロナ禍で開催するかどうかということなんですけど、中西委員が言われたように議会基本条例を進めるということで工夫をしての方法を考えていけばいいんじゃないかと思いません。

○尾川委員 やろうとしても集まっていたらどうかというのが一番心配するところで、いろんな提案が出てきとんですけど、今後のやり方について見直ししてかっちり思いつきじゃなしにある程度方針を出して、任期はあと一年ちょっとですけど。その間をどうするかというふうなことでいくんか、報告会ごとにやり方変えていくんかというふうなことでなくて継続性ということできっちり方針を決めてやるべき、一呼吸置くというふうな感じのほうが賢明じゃないかと思えます。ですから、コロナの問題で非常に神経質で、岡山県の状況も増加の一途と、備前市の動向もどうなるかというのがあって、議会基本条例もありますけれども、緊急避難的に2月については中身を検討するというにしたらどうかということです。

○土器委員長 市政会なんですけど、2班に分けて開催してはどうかということ、それから市民の関心があるテーマの意見交換、あるいはその議案の中に反対意見があったら反対意見についても報告するという形で開催ができればいいんじゃないかなと思っています。

全員の方からそれぞれ意見が出されました。この中で今後の議会報告の在り方について、もし開催するんであればどういうやり方をこれからしていくかということについて議論してもらいたいですし、それから中止するんであればよく考えて、もう一度全員で意見を出し合って、その中でいいのを採用してやっていけたらいいかなと思うんですが。

○森本副委員長 確かに基本条例はあるんですけど、災害等が起こったときは必ずしもというのがあったとは思いますが、きちんと予防して開催していくということも分からないわけではないんですけど、正直なところ高齢者の方の参加率が高いので、その点も含めて考えていくと、何かあったとき、この時期に開催したのかという批判を浴びる可能性も正直危惧しています。神経質になり過ぎているんじゃないかって言われるかもしれませんが、全国的な状況を見たときに岡山県も増加していますし、備前市も必ずしも大丈夫だということも言えないので、この時期に人が集まるっていうのはどうかなというふうには思っております。

○中西委員 なかなかこれは判断の迷うところですよ。どちらが正解なのかというのはある意味ではやってみないと分からないようなところがあったり、副委員長のおっしゃるようなことも十分あり得ると思うんですけども、だからそういう中で感染症対策を行った報告会を工夫してみるという取組も一つの決断かなと思っています。特に、議会基本条例をつくった後に例外規定の中で中止をするというの、何となく私自身はちゅうちょしますんで、ここは少し前へ進めて考えたらと。

それからもう一つは、例えば大きな枠をこの機につくってしまうということではなくて、来期の新しいメンバーのところへ話をつないでいくというのも私は考えとしてはあるんじゃないかと。そのためには、この1年少々ですか、少しいろいろ取組もしながら試行錯誤をしながら考え

て、やり方も少し考えながら進めて、進めながら考えていくというようなことで、次期へそれを申し送るといような形でもいいんじゃないかなと思います。

○石原委員 本当に難しいところだと思います。会食等も含めての会合であれば当然難しいでしょうけれども、あくまで御意見を伺うための機会ですので、はっきり言うて正解は分らないのですけど、こういう状況で、ここで議会報告会、意見交換会を一旦止めてしまうと、今度じゃあどういような状況になったときに再開ができるのかという判断もまた難しいのかなというところもあります。来られる方は恐らく寒い時期ですし、少ないことも見込まれますけれども、ある程度そういう人数の配慮、それからこちらの人数調整等も含めて感染予防の上で開催できるんじゃないかと引き続き思うんですけどね。

○青山委員 本当に刻々と状況が変わっているような中ですので、なかなか難しいとは思いますが、グループワークにしても会食と違ってマスクをしてある程度の距離を取って行うというふうな工夫もできると思いますし、行ったらいいんじゃないかと思います。

○中西委員 もう一つ言い忘れていたんですけど、今回場所は、吉永地域公民館と設定されているんですけど、オンラインでの議会報告会もあり得るのかなあと。ZOOMを使って例えばQRコードをスマホで当てれば見られますよと。ユーチューブなどに上げて1週間ぐらい視聴ができますというふうな、それに備前市の人が10人、20人、100人ぶら下がっても別に大丈夫かなあという感じはするんですけど、そういうやり方もあり得るとは思うんです、もし感染ということだけを考えるのであれば。議員への研修会もほとんど今オンラインで来ていますし、そういうのもあるかなと思いますけど。

○尾川委員 いろいろ意見あると思うんですけど、私はオンラインにするとか、半分にするとかをきっちり検討して、今までのやり方でするか、変えるかということから。コロナ禍でどういような展開になるかということ、例えば昼にやるとかというふうな、半分にするとかいうのはまたそれは方法の問題で、それをまず検討することが、ZOOMの話も出たけど、何ぼお金がかかる、時間はどのくらいかかる、準備はどうなるということを検討して決めるべきで、思いつきでやるんじゃないし、ここできちっとこれから1年間はどういようなふうにしていくということ、昼やるとか、場所をもっと増やすとか、議員を減していくとか、グループで話したいという意見もあるようですから。その作業は実際どういようなふうにできるか、ZOOMでやるんか、中身をもっと検討してこれから1年間はこういようなふうに活動していきましょうということを議論してから話。それをするんならそういようなふうにする方がいい。

今、私は延長線で吉永も今までと同じ形で開催かなあというんであれば時間も場所もということですから、もっと検討すべきじゃねえかと言わるわけです。決してやらんと言わるわけじゃないです。ただ、やるためにこういような状況下でどうしたらもう少し関心持ってもらえてやれるかということを検討しましょうという提案をしよるわけです。

○中西委員 前回そういようなことで提案して、実は吉永は昼から行うことになっているんですよ

ね。だから、枠を決めてからではなくて、もう既にやりながら考えていくというやり方を取っているんだと私は思っているんです。

○土器委員長 いろいろ議論して出たんで、結論を出していきたいと思います。

○森本副委員長 ここで決めるのもあれなんですけど、結局何か起こったときに対応して下さるのは事務局とか議長になってくると思うんで、御意見等を聞かせていただければと思うんですけども。この時期どういう形で議会報告会の開催を予定されているところがあるのかなのか、また取りやめたところはあるのかも含めて近隣市の状況も併せて御意見を伺えたらと思うんですけど。

○入江議会事務局長 県下という意味では近隣のこれからの報告会の予定はなかったと思いますが、ただし10月末には赤磐市はやっておられるようです。瀬戸内市はなくなったようです。そのくらいです。

また、感染者が出た場合の責任の所在は議会に全部かかってくると思います。これは仕方のないことです。

○森本副委員長 責任の所在というか、結局対応していただくのが全議員で個々に対応するわけではないので、その辺も含めて事務局としてもこの時期に開催するのがふさわしいかどうかという、私的な御意見になるかもしれませんが、少し伺わせていただければと思います。

○入江議会事務局長 事務局内でこの件をどうするかというような話をしたことは基本的にはないんですが、雑談的には厳しいよねと。それから、本日緊急事態宣言が関東の1都3県で出ますが、同じ状況になったらそれこそやるべきじゃないよねぐらいの認識ではあると思います。

感染対策については8月、それから11月にやったあれ以上のことは基本的にはできないと思います。

また、最後に御提案もあったオンラインでの開催については、議員、それから参加者への周知あるいはサポートという面では今は厳しいかなと。11月にそういう研修会に参加したんですが、その際には我々割となじみのある愛知県瀬戸市なんかでは試しにやってみたという形です。ただし、この場合は参加者を先に限定して、その人にそういうサポートをして、接続関係もいのようにして初めてできると私は個人的には思っております。オンラインについても全国的にはオンライン報告会ですか、やっているところはあります。

○守井議長 前回吉永でやらせていただいたときには各地区から二、三名ずつの出席をお願いしますということをお願いはしたんですけども、今回は恐らくもうできないと、しないほうが正しいんではないかと思っておりますので、私はできないなと思っております。そういった中、自主的にもし参加して来てくださる方がおられれば、甚だ少ないんじゃないかなということが危惧されると思っております。やる、やらないは皆さんの御意見に従えればと思いますけれども、実際にはそういうことになるかなと思っております。

そしてまた、やり方についても議会側からの議会だよりを中心にした報告だけの今までのやり

方であれば、同じパターンがもうずっと続いていますので、やるのであればもうやり方を変えたほうが良いと思っています。そちらにしても、今の段階では参加者が非常に厳しいのではないかと考えています。

○土器委員長 今、いろいろ話を聞いて結論が出たような気もするんですが、議運でやるという形を決めるのはなかなか難しいんじゃないかなと思います。ということで、今回中止ということによろしいですか。

○石原委員 さっきも言いましたけど、正解は果たしてどうあるべきか分からんですけど、当然厳しい局面というのは理解しとるつもりなんですけど、ここで一旦閉じた場合、今度じゃあどういう状況になったら再開できるのかなというところもある程度基準じゃないですけど、そんな人がないとじわじわ広がって首都圏に緊急事態宣言の発令もあり、岡山県も50名前後増え、しかし市内では感染は抑えられとる中でもし開催せんの方でいくのであれば、今度じゃあどういう状況になったら開催できるのかなあというのを思うんですけど。

無理やり何が何でも開催しようと言うんじゃないです。

〔「休憩でも取りますか」と呼ぶ者あり〕

○土器委員長 では、休憩しましょう。

午前11時00分 休憩

午前11時30分 再開

○土器委員長 それでは、議会運営委員会を再開します。

再開してすぐなんで、申し訳ないんですけど、休憩してもう少し皆さん自由に言うて、それから結論を出したいと思います。

午前11時31分 休憩

午前11時37分 再開

○土器委員長 じゃあ、会議を再開します。

休憩中に皆さんいろいろな意見を出されています。これをぜひ頭の中へ入れとっていただけたらと思います。

その上で、今回2月の議会報告会は中止という形にさせていただきたいと思います。

よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それじゃあ、異議なしということで中止にさせていただきます。

ただ、できれば今月中にもう一回議会運営委員会を開催して、今後どういう形であるかということのを改めて皆さんと討議していきたいと思うんですが、それでよろしいですかね。

○尾川委員 せっかく意見を言うて、私もしたらどうかと言わるわけじゃから、それに対してどうするかということのを判断して、おえんならおえん言うてくれりゃええし。

○土器委員長 分かりました。

○中西委員 同じ意見です。併せて、次は何らかの形でというのは確認しておいたかどうか。

○土器委員長 分かりました。

まず、5月には何かの形で議会報告会を開催できる方向に持っていくということ。それから次に、副議長から提案があったアンケートについても一度お聞きして、その意見を採用するかしないか。

○青山委員 私は採用というか、内容は別として、先ほども言いましたように議会だよりに中止というふうな連絡とともに御意見をお寄せくださいというふうな形を取ったらと思いますけど。議会のホームページに意見を言うようなコーナーはありましたかね。

○石村議会事務局次長 議会報告会に限らず御意見をいただくフォーマットはございます。

○中西委員 議会報告会で例えばコロナだとか、この間の報告会をどう思われるかというのはぜひ聞きたいと思うんです。一つはホームページへというのもありますし、それからさっき尾川委員がおっしゃられたように議会だよりに1枚のペーパーを挟んでおいてファクスでも送ってもらえるというようなやり方もあるんだと思うんですよ。話を聞きたいというのはこの議会だよりに読んでの全体でもいいし、フリーの意見でもいいし、あるいはコロナで設定してもらってもいいですし、そこはお任せをしたいと思うんですけども、それをやるとまた時間がたってしまうんで、そういうのを1枚挟んでおいたらどうでしょうか。

○森本副委員長 ペーパー1枚を挟むというのは予算的にはどうなんですかね。急なんですけど。

○入江議会事務局次長 私が編集委員会の議を経てやったのは、今16ページなんで、4枚で16ページです。その中へ1枚入れて、それがアンケート用紙になってファクスでもいけるし、メールでもできるように、あるいはそれを各総合支所へ持って行ってくださいとそのままそこへ書いて入れる、そういう3つぐらいのことをして、ただしお金は2枚分になるんで、2枚目に次の定例会はこうですとかいうようなやつも白紙じゃなくて入れて、1枚4万円ぐらいなんで8万円かかりますけど、それを送って、回収はファクス、メールあるいは現物というような格好でさせていただいて、あまり反響はなかったです。なぜかという、挟み込みなので、どうしても目立たない。だから、今回やるとしたらその挟み込む台紙は色が変わったようなやつで挟み込まないと、議会だよりに挟み込んで、それを1万5,000やろうとすると6時間ぐらいかかりますんで、それはもう業者に頼みます。そのぐらいのことはできるんじゃないかと思います。予算的には多分年間の予算は4ページぐらい多めに取っているはずなので、いけると思われますが。臨時号を出しとるから難しいかもしれませんが、その辺は分かりません。契約単価でいきますんで。

○石原委員 予算もかかる、手間もかかることなんですけど、もうこの新型コロナの状況を受けて今回の2月6日は中止とします。ただし、市民の方からの御意見は募らせていただきますみたいな文言を入れとけば、わざわざチラシを入れんでもいいじゃねえかなあ、ファクスでも可能、様式

があったら市民の方は書きやすいかもしれんのかなけど、ただそういう意見を受け付けるところをお伝えしとけばいいのかなあという思いですけど、いかがですか。

○入江議会事務局長 やり方はどういうやり方でも基本的には10万円弱なんで、何とかなると思うんですが、5件だったら大丈夫かもしれませんが、逆に100件の意見が出たら100件返す話ですがここへかかってきますんで、そのほうが厳しいとは思いますが。

○中西委員 僕はお金の問題は、議会としては少し一般会計へ返したこともあることも含めてそんなに気にしないでいいんじゃないかなと思うんです。100件返ってくればそれはありがたい話で、200件返ってくればそれもありがたいんで、ぜひそういうのでお伺いをしてみたらどうでしょうか。

○守井議長 同じ入れるならアンケートみたいな形で御意見を聞かせてくださいみたいな格好で入れといたほうがいいんじゃないかなとは思いますがね。それか、もう返信をしてくださいというんでしたら先ほど石原委員がおっしゃっていたように文章だけ書いてファクスはここへお送りください、メールはここへお送りくださいと書くか、どちらかにしたほうがいいんじゃないかと思えますけどね。

手法は委員長に任せてもええと思うんですけど。

〔「それは任せます」と呼ぶ者あり〕

○土器委員長 それでは、副委員長、事務局と相談しますから任せてください。
よろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、議会報告会の在り方についてはこれで終わります。

それでは2番目、議員研修会について。

○石村議会事務局次長 これも各党派で議員研修会の反省会ということで話し合いをいただいていると思いますので、御意見をお伺いしていただいてからと思っています。

それから、メールでお知らせしておりますが、前回の議会運営委員会で研修会の講演録を作成するよという御指示をいただいておりますので、Side Booksに入れさせていただきますので、御報告をさせていただきます。

○森本副委員長 講演会を始める前も林先生に継続して基本条例の件についてずっとお話をといたうか、備前市議会を見ていただけるかというお話も出たとは思いますが、林先生に継続して御相談なりかけていたり、ずっと備前市を見ていただきたいなどは思いました。なので、今回講演会の中で先生がいろいろ課題とか取り組むべきことを言われたので、継続して見ていただくことをお願いして、もし引き受けてくださるのであれば1年かけて何らかの形で先生にお応えしていく必要があるかと思うので、何か一つ課題に取り組んでいくべきではないかとは思いますが。

○中西委員 副委員長の言われたように林先生と一緒に共同の作業みたいなのができるといいなと思います。どういう形がいいのか、お金の問題もあるでしょうから一度それは他市でも林先生

と一緒にやっているところもあるんで、少しそういうあたりもどういうことをしとられるんかというのを含めて研究してみたらいかがでしょうか。

○石原委員 せっかくの御縁ですので、私も何らかの形で先生にという思いもありますし、それからこの件についてはそれこそ今後も引き続き来年度になりましょうからじゃあどういう取組をしていくか、どういうテーマでいくか、どういう時期にどういう形で関わっていただくかということも含めて継続して議運としてもそれこそ研修会について検討していけばいいことではないかと思えます。

○青山委員 私も今回林先生にやっていただいて、本市の議会の強みや弱みであるとか、他の自治体の先進例も挙げてくださってすごく分かりやすい研修でしたし、これを機にこういう方向でという方向性も示していただいたんで、継続して林先生にアドバイスなりやっていただいたらというふうに思えます。

○尾川委員 林先生が指摘された課題についてまとめて、その課題について備前市議会としてどう対応するか、どう取り組むかということを確認したらどうかなあと思えます。

これ研修会とは違うんですけど、今正式な委員会じゃないんですけど、図書委員会というのを立ち上げてこれまでに二、三回会合して、12月は備前市の図書館司書に現状を聞いてきたんです。一番目的はどの程度時間に余裕があるかと。いかに議会の図書室に力を注いでいただけるか、時間が取れるかということが言いたかったんですけど、そういう目的で状況把握ということで委員と一緒にいったんですけど。また、1月中には今度はこちらへ来てもらって貸出しの方法とか、整理の方法とかを検討していきたいと思うとります。皆さん方の御協力も、とにかくあっちの司書にあれもせえ、これもせえというのは無理な話なんで、その辺を議会として共通認識してもらって取り組んでいくというふうなことで、側面から協力していただけたらと思えますし、将来的には環太平洋大学の図書室がどの程度の規模で、林先生に一遍相談もしながら利用できるような形できんかと。それと、岡山大学ぐらいに備前市議会議員が自由に出入りできるようにならないかというふうなことを考えておりますんで、その点を御協力いただけたらと思えます。

そんなことですからまずはこの間の講演会の課題というんですか、問題提起されたことについてまとめて、それに対して取り組みやすい議題に取り組んでいくべきじゃないかという意見です。

○守井議長 基本条例の中で議会BCP、議会の業務継続計画、あるいは危機管理計画、そういうところが第17条に明記されておるんですけども、その中に要綱を設置してくださいという文面になっておりますので、ぜひこれに取り組んでいただきたいと思っていますし、私も一応案みたいなものをざっとつくっていききたいと思っていますんで、議運の方々にもぜひ御協力のほどいただきたいと思っています。その他の課題についてもぜひいろいろ協議していただきたいと思っています。一度にたくさんのもこともなかなかできないかと思うんですけど、一つずつ進めていっていただければと思っていますので、お願いしておきたいと思えます。

○土器委員長 皆さんの意見をお聞きして、引き続き林先生にいろいろと相談しながら議会運営をという意見だったと思います。私たちの任期はあと一年5か月なんです、その間林先生をということではいかせてもらったらと思います。

よろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それから、議長の出されている案はその他のところを出していただけたらと思います。

○中西委員 林先生が関わっておられる岡山県内の自治体、どういうふうな関わり方か、これは事務局サイドで少し調査をしていただけないでしょうか。

○石村議会事務局次長 調査したいと思います。

○土器委員長 そしたら、研修会についてよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

次、その他いきます。

事務局のほうで何かありますか。

○石村議会事務局次長 ここで決定をいただかないといけないものではありませんが、前回の議会運営委員会の課題となっておりました定例会期中の学校関係の行事について、卒業式、卒園式ですけれど、それも会派の課題となっておりましたので、今後検討していただきたいと思っております。

○土器委員長 分かりました。

ほかにないですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、ほんなら委員さん。

○尾川委員 議会基本条例で記憶されとると思うんですけど、議会だよりモニターという制度を導入したらどうかということ条を条文じゃあ出ていなかったと思うんですけど、ぜひその辺は取り組みやすいテーマなんで、議会だよりモニター制度をぜひ実施すべきじゃと思います。

○青山委員 私も言いませんでしたけど、実は議会の危機管理とBCPの作成というふうな提言もいただいていますし、こういう災害あるいは感染症予防等思わぬことがどんどん出てきているので、そのところは議会の対応ということで考えていくべきじゃないかと思っております。

○土器委員長 ほかの方意見ありますか。

○石原委員 先ほどの尾川委員のモニター制度についてとか、それから先ほど言われた業務継続計画ですか、そういうところも基本条例にも関わってくることは思いますんで、だから今後のこの議運でもうそれこそ①②、それから基本条例、これらの3つは大きな柱ともう継続しずっと検討課題でいくべきじゃ思いますんで、今後正副委員長にお任せしますが、事前に幾らかアナウンスいただいて臨ませていただければ。

○土器委員長 分かりました。

○中西委員 林先生の言われた課題についてはできそうなところがあったと思うんで、それも並べて検討していきませんか。

それからもう一つは、議会だよりの編集委員長はここにおられるんですが、1枚アンケートを挟むということについては編集委員の皆さんには周知の徹底を議会事務局からお願いしたいと思います。

○土器委員長 ほかの方よろしいですか。

○尾川委員 今のお願いなんじゃけど、議会だよりモニター制度、2つか3つ、モデルを紹介してもらえたらと思うんじゃ、この次の機会ぐらいに。

○土器委員長 よろしい。事務局。

ほかにございませんか。

ないですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

そしたら、議会運営委員会をこれで閉会いたします。ありがとうございました。

午後0時02分 閉会